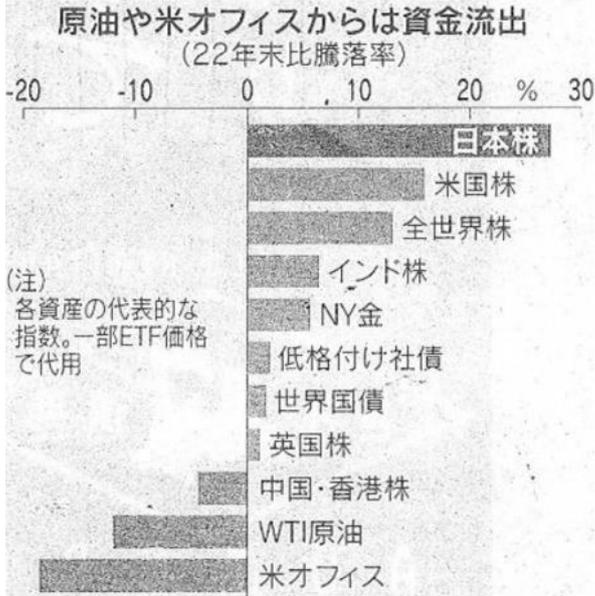


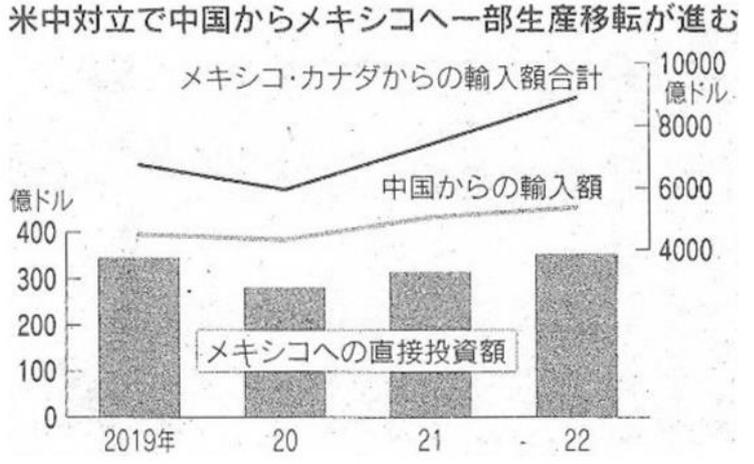
週間国際経済 2023 (21) No.355 07/02~07/09

- 07/02・世界株 時価総額 1割増し 上期 100兆ドルに、ピークの 8割回復 <1>
過去最大値は 21年 11月 120兆ドル 利上げ停止の楽観シナリオ崩れれば逆回転のリスク
・EU 首脳 中国依存減で合意 経済安保と貿易、両立に苦慮
- 07/03・テスラ世界販売 8割増 4~6月 値下げ・補助金で勢い
- 07/04・「北米経済圏」再び脚光 USMCA (米・メキシコ・カナダ協定) 発効 3年 <2>
米中対立で中国企業の対メキシコ投資、メキシコの対米輸出急増 米に生産回帰せず
・サウジ原油減産 来月も 100万ドル維持 ロシアは 50万バレル減産 価格下支え
- 07/05・人種優遇「違憲」企業に余波 米大学巡る連邦最高裁判断 職場の多様性阻む
・「ハーバード大は白人優遇」米人権団体 卒業生や寄付者の子供ら入試で優遇
- 07/06・米利上げ停止に反対論 FOMC 6月議事要旨 18人中 9人が残り 2回の利上げ想定
あと 1回 4人 残り 3人は 3回から 4回を想定 次回指標見て判断
・日銀副総裁、金利操作修正「市場に配慮」 バランス重視
- 07/07・中国、車の値下げ抑制 BYD やテスラ、16社合意 政府が競争介入 <3>
・メタ「スレッズ」開始 3000万人が利用登録 SNS 勢力図に変化の予兆 <4>
ツイッター混乱で商機 ツイッターが「メタ、企業秘密盗む」と書簡
・米 2年物金利、一時 5.1%台 16年ぶり高水準 利上げ長期化観測で <5>
- 07/08・米雇用、6月 20.9万人増 失業率 3.6%に低下 平均時給、前年同月比 4.4%上昇
・米金利上昇で日米株安 雇用堅調、利上げ「年内 2回」に傾く
日経平均、一時 400円下落
・半導体メモリー 1年で 4割安 需要横ばい在庫解消に時間 サムスン営業益 96%減
・米中、半導体規制巡り対話 イエレン米財務長官、李強首相と会談 <6>
・アジア移民労働、再び活発 昨年 460万人、コロナ前水準迫る
行動制限緩和 産油国で需要増 送金額最高 (約 48兆円)、経済を下支え
・米、クラスター弾供与 侵攻後初 ウクライナ反攻後押し 英やスペイン反対
・中韓、関係改善で一致 次官級協議 韓国「一つの中国」尊重
- 07/09・中国車値下げ抑制撤回 「16社合意」 世論の反発に配慮か
・元徴用工判決金 韓国が履行急ぐ 原告 7割受領、残りも供託手続き

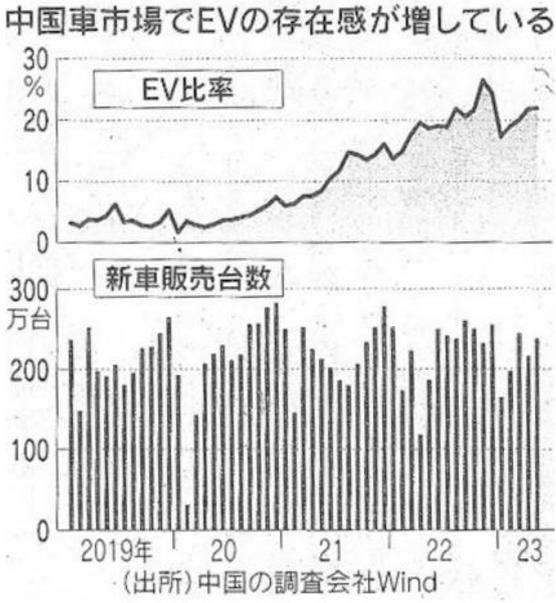
<1>



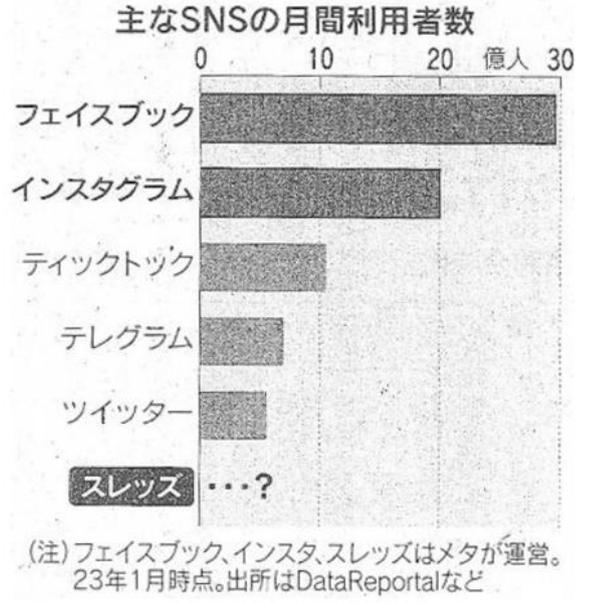
<2>



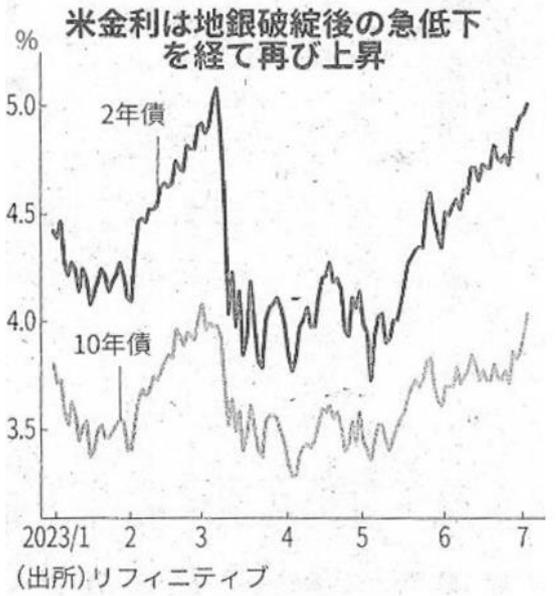
<3>



<4>



<5>



<6>

米中両国が抱える懸案

半導体の輸出規制	米国が先端半導体、中国が半導体素材の輸出規制を強化
フレンドショアリング	米国は友好国との供給網再構築を急ぐ。中国は分断を深めると反発
双方の関税引き上げ	米国に引き下げ論もあるが、対中強硬派の反発などで進展乏しく
新興国債務や気候変動問題	半導体などを巡る対立が激化し、共通の懸案事項も議論が深まらず